

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 5 区分
【発行日】平成 17 年 4 月 21 日 (2005.4.21)

【公開番号】特開 2003-293234 (P2003-293234A)
【公開日】平成 15 年 10 月 15 日 (2003.10.15)
【出願番号】特願 2002-94558 (P2002-94558)
【国際特許分類第 7 版】

D 0 2 G 3/32

D 0 2 J 1/08

D 0 3 D 15/08

【F I】

D 0 2 G 3/32

D 0 2 J 1/08

D 0 3 D 15/08

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 6 月 15 日 (2004.6.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

芯部が切断伸度 70 % 以上の弾性系から構成され、他方、鞘部が切断伸度 70 % 以上の自己伸張性を有するポリエステル繊維から構成されてなることを特徴とする伸縮性芯鞘型複合系。

【請求項 2】

芯部を構成する弾性系がポリエーテルエステル系弾性系である請求項 1 に記載の伸縮性芯鞘型複合系。

【請求項 3】

空気混織されたものである、請求項 1 または請求項 2 に記載の伸縮性芯鞘型複合系。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の伸縮性芯鞘型複合系を少なくとも含むことを特徴とする伸縮性織編物。

【請求項 5】

織編物の伸張率が、経方向に 10 % 以上であり、かつ緯方向に 10 % 以上である請求項 4 に記載の伸縮性織編物。

【請求項 6】

織編物の L 値が 12 以下である、請求項 4 または請求項 5 に記載の伸縮性織編物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

かくして、本発明によれば、「芯部が切断伸度 70 % 以上の弾性系から構成され、他方、鞘部が切断伸度 70 % 以上の自己伸張性を有するポリエステル繊維から構成されてなることを特徴とする伸縮性芯鞘型複合系」が提供される。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

その際、芯部を構成する弾性系がポリエーテルエステル系弾性系であることが好ましい。
。さらに、前記伸縮性芯鞘型複合系は、空気混織されたものであることが好ましい。